

事業番号	16 01 09	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全教育推進事業			担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	交通企画課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保		E-mail	police-koutsukikaku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	S35 ~		
	施策展開	2 交通安全対策の推進					

1 事業の概要

目指す姿	平成25年度を初年度とする長野県総合5か年計画において、「平成29年度までに交通事故死傷者数1万人以下」を目標に掲げている他、平成28年度からは、第10次長野県交通安全計画の策定が予定され、新たな交通事故抑止目標の達成に向けた取組が開始される。こうした状況を踏まえ、交通死亡事故抑止と交通事故の総量抑制に重点を置き、多角的な交通事故分析の成果を活用した真に交通事故抑止に資する総合的な交通安全対策を推進する。						
現状(予算編成時)	<input type="checkbox"/> 交通事故死傷者数は、平成14年以降減少傾向にあるが、平成27年中は11,023人であり、依然として1万人を超える高止まり状態である。 <input type="checkbox"/> 高齢運転者による交通死亡事故の発生比率が増加している。 <input type="checkbox"/> 高齢者が犠牲となる交通死亡事故が全死亡事故の約6割を占め、高率である。						
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】					
	県民との協働による実施： 実施中	道路交通法、交通安全対策基本法					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)						
	<input type="checkbox"/> 高度な事故分析に基づいた交通安全教育をあらゆる階層に推進し、交通事故の総量抑制と交通事故死傷者の減少を図る。 <input type="checkbox"/> Sdocプログラムに基づくシルバー技能アップ講習の受講率向上(年間90%以上)。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H28事業実績		H28	H29
				(当初)	(決算)	(当初)	
		1. 地域交通安全活動推進委員による交通安全活動支援	直接	・季別交通安全運動活動への支援 ・交通安全教育知識向上のための講習会の実施	1,368	1,212	1,368
	2. 各対象者に応じた交通安全教育の推進	直接	・高齢者を中心とした運転適性診断の実施 ・チャレンジ号や資機材を活用した交通安全教育の実施	2,394	2,005	9,373	
	3. 交通安全広報啓発活動の推進	負担金	交通事故ゼロチャレンジ事業への負担金	720	720	720	
	4. 参加・体験型交通安全講習	委託	Sdocプログラムに基づくシルバー技能アップ講習	2,000	1,833	2,000	
			合計	6,482	5,770	13,461	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	29,193	6,482	13,461				目標	成果		達成状況
	補正予算				シルバー技能アップ講習	受講率 81%	受講率 86.6%	受講率 90%以上	91.2%	達成	受講率 90%以上
	合計(A)	29,193	6,482	13,461							
	一般財源	2,427	2,379	997							
	県債										
	国庫支出金										
	その他	26,766	4,103	12,464							
	決算額(B)	26,093	5,770								
概算人件費											
職員数(人)	0.01	0.01	0.01								
概算人件費(C)	83	79	79								
概算事業費(B(A)+C)	26,176	5,849	13,540								

目標に対する成果の状況 高齢運転者に対する、参加体験型講習を実施することにより、身体機能や判断能力が低下している高齢運転者に対する教育の推進を図ることができた。受講者の中には運転免許の自主返納を決断した高齢者もあり、高齢者の関わる交通事故防止には大いに効果がある。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 道路交通法の改正により、高齢者の講習及び認知機能検査の拡充等が図られたが、対象とならない高齢者も身体機能や判断能力の低下は確実にあることから、参加体験型講習を更に推進し、高齢者の関わる交通事故防止を図る。
--------------------	---